

牛滝地区小水力発電所整備運営事業
審査結果及び審査講評

令和5年2月

青森県佐井村

令和5年1月18日に「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成11年法律第117号。以下「PFI法」という。）に基づき公募いたしました「牛滝地区小水力発電所整備運営事業」（以下「本事業」という。）に係る本事業を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）の選定に関する審査講評をここに公表いたします。

令和5年2月28日

牛滝地区小水力発電所整備運営事業者選定委員会

委員長	東 出 尚 哉
副委員長	東 出 隆 広
委員	伏 見 達
委員	福 士 暁
委員	石 戸 益 美
委員	坂 井 一 尚
委員	田名部 二 郎
委員	長 島 幸 雄

目 次

1. 事業者選定の体制等	1
2. 参加資格審査結果	1
3. 審査結果	1
4. 審査結果の総評	4

1. 事業者選定の体制等

(1) 事業者選定の体制

技術提案書等の審査に当たっては、佐井村が設置した学識経験者等で構成する牛滝地区小水力発電所整備運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）が応募者から提出された技術提案に係る審査を行い、最優秀提案者を選定、佐井村にその選定結果を報告した。

(2) 選定委員会

選定委員会の構成は、以下のとおりである。

(順不同、敬称略)

区分	氏名	所属・役職
委員長	東出尚哉	佐井村総務課長
副委員長	東出隆広	佐井村総合戦略課長
委員	伏見達	EY新日本有限責任監査法人・弁護士
委員	福士暁	あおもり創生パートナーズ株式会社・地域デザイン部長
委員	石戸益美	佐井村商工会・主任経営指導員
委員	坂井一尚	牛滝地区会・総代
委員	田名部二郎	佐井村副村長
委員	長島幸雄	佐井村産業建設課長

2. 参加資格審査結果

佐井村は、令和5年2月3日に参加表明申請のあった1応募者について、募集要項等に示す参加資格要件を全て満たしていることを確認した。

応募者番号	応募者1
応募者名称	株式会社さいエナジー

3. 審査結果

(1) 審査方法

応募者から提出された技術提案の内容について、選定委員会が、以下に示す「審査事項の内容」の評価項目ごとに評価点を付与し、技術提案に係る審査を行った。

[審査事項の内容]

評価区分	評価項目		配点
1. 企業の実績について	(1) 企業の開発・施工実績	再生可能エネルギー発電施設の開発・施工実績	10

(30点)	(2) 企業の地域密着度	応募企業又は応募グループの代表企業の村内における本店等の有無	10
	(3) 地域還元活動の実績評価	地域還元活動の経験	10
2. 技術提案の内容について (70点)	(1) 事業計画全般に関する事項	①事業期間中の事業者の経営計画	10
		②リスク管理と対応策	5
	(2) 設計・建設業務に関する事項	①設計・建設上の留意点	10
		②kwh当たりの建設費	10
	(3) 運営維持業務に関する事項	事業期間中の維持管理計画及び緊急対応体制	10
(4) 地域還元に関する事項	地域還元に関する提案や取り組み	25	
合 計			100

[採点基準]

以下の基準に基づき、客観的に評価する。

評価	内 容	評価点
A	非常に優れている	各項目の配点×1.00
B	AとCの中間程度	各項目の配点×0.80
C	優れている	各項目の配点×0.60
D	劣っている	各項目の配点×0.40
E	DとFの中間程度	各項目の配点×0.20
F	非常に劣っている	各項目の配点×0.00

(2) 技術提案に係る審査の結果

前項の審査方法に基づく技術提案に係る審査の結果を以下に示す。

評価区分	評価項目		配点	評価点
				応募者1
1. 企業の実績について (30点)	(1) 企業の開発・施工実績	再生可能エネルギー発電施設の開発・施工実績	10	9.7
	(2) 企業の地域密着度	応募企業又は応募グループの代表企業の村内における本店等の有無	10	10.0
	(3) 地域還元活動の実績評価	地域還元活動の経験	10	10.0
2. 技術提案の内容について	(1) 事業計画全般に関する事項	①事業期間中の事業者の経営計画	10	7.1
		②リスク管理と対応策	5	3.6

(70 点)	(2) 設計・建設業務に関する事項	①設計・建設上の留意点	10	7.1
		②kwh 当たりの建設費	10	10.0
	(3) 運営維持業務に関する事項	事業期間中の維持管理計画及び緊急対応体制	10	7.2
	(4) 地域還元に関する事項	地域還元に関する提案や取り組み	25	16.4
合計			100	81.1

(3) 総合評価点及び最優秀提案者の選定

ア. 最優秀提案者の選定方法

選定委員会において、企業の実績と技術提案の内容に係る審査により得点化した各評価項目の評価点を合計し、総合評価点を算出した。

<p>総合評価点 = 企業の実績 (30 点) + 技術提案の内容 (70 点) 計 100 点満点</p>
--

イ. 選定結果

応募者 1 の株式会社さいエナジーの総合評価点は 81.1 点となり、評価基準点の 50 点を満たしたことから優先交渉権者として選定した。

4. 審査結果の総評

今回の牛滝地区小水力発電所整備運営事業は、本村初の試みのPFI事業で実施し、1社から事業提案をいただいた。この1社は、官民一体で設立した地元業者であり、地域密着の体制で事業を推進することが掲げられ、提案内容においては、単に発電所を建設するだけでなく、そこから生まれる利益を如何に地域に還元させるかという点にも配慮され、具体的な中身は示されていないが、そのような意識を持っている点は評価されるものであった。

今後は、下記に示すように選定委員会が出された意見も十分に考慮し、佐井村と事業者間で十分な協議を行い、地域住民に末永く愛される施設整備並びに長期にわたって安全かつ確実な維持管理の遂行に努め、地域と共存できることを強く望むところである。

[選定委員会における各委員の意見]

- 地域貢献事業について、具体的な提案がなかったのが残念であった。当然、その部分の評価は厳しくなった。ただ、まだ、事業者として選ばれていない中で、今の段階でどこまで準備できるのかという点については理解できるが、今後、決まった段階で調整していくということが結構あったので、そこは抜かりなくやって、牛滝地区だけに限らず、佐井村にとっても良い形で貢献できる事業として進めてほしい。
- 役場と協議が必要となる案件も結構あるので、事業者として決まった場合は、粛々と進めてほしい。
- 地域還元事業について、金額も内容も不明で抽象的であったので、その部分は評価が高くなかった。後は、体制のところヤリスク対応の所も収支計画上、明確に積まれておらず、単純にこの金額の中で対応する、これから考えるということであったので、不安に感じさせてしまう部分であったことから、そこも低く評価した。
- 全般的に高く評価した。収支的なところは未だ分からない部分は仕方ないが、この事業自体、非常にやる意義のあることだと思っているので、漁村地域で再エネを使うという部分でも他に見本になるものであり、考え方や取組内容も良い見本・モデルになるので、村の大きい一つのPRの材料として、上手くやってほしい。あと、PRするという意味でいくと、佐井村は観光ポイントもあるので、観光に絡めて水力発電もPRして、外から人を呼び込むためのものと位置づけして、地域貢献事業になるようにしてほしい。
- 提案内容がアバウトではあるが、実現できるのであれば、やってほしい事業であると思い、前向きな評価をした。地域貢献については、具体的なものがほしかったが、質問に対して資金面で協力をするとのお話があったので、それはそれで良かった。さいエナジーとは別の会社を立ち上げる実施することになるが、その体制が気になる。
- 地域の代表できているので、工事開始前に地区の人にも、今回、私が受けた同じような説明をきちんとしていただきたい。その際には、具体的な地域貢献策を示してほしい。
- 常駐できないとか実働部隊がないとかの話があり、緊急時の対応について、不安が残った。その辺は、工事の実施前にそれらの留意事項を検討してほしいということを伝えたい。

[添付資料 個別講評]

評価区分	評価項目		講 評
1. 企業の実績について	(1) 企業の開発・施工実績	再生可能エネルギー発電施設の開発・施工実績	
	(2) 企業の地域密着度	応募企業又は応募グループの代表企業の村内における本店等の有無	
	(3) 地域還元活動の実績評価	地域還元活動の経験	
2. 技術提案の内容について	(1) 事業計画全般に関する事項	①事業期間中の事業者の経営計画	<ul style="list-style-type: none"> ・収支的などころは未だ分からない部分は仕方ないが、この事業自体、非常にやる意義のあることだと思う。 ・漁村地域で再エネを使うという部分でも他の見本になるものであり、考え方や取組みという良い見本になるので、村の大きい一つのPRの材料として、上手くやってほしい。 ・佐井村は観光ポイントもあるので、観光に絡めて水力発電もPRして、外から人を呼び込むためのものと位置づけして地域貢献事業になるようにしてほしい。 ・さいエナジーとは別の会社を立ち上げる実施することになるが、その体制が気になる。 ・工事開始前に地区の人にも、今回と同じような説明をきちんとし、その際には、具体的な地域貢献策を示してほしい。
		②リスク管理と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク対応に関して収支計画上、明確に金額が積まれておらず、単純にこの金額の中で対応するというものであり、これから考えるということであり、不安に感じてしまう部分があった。 ・常時管理できる人員がいなかったりか実働部隊がいなかったりかの話があり、緊急時の対応についての不安が残った。その辺は、工事の実施前にそれらの留意事項を検討してほしいということ伝えてほしい。
	(2) 設計・建設業務に関する事項	①設計・建設上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・役場と協議が必要となる案件も結構あるので、事業者として決まった場合は、粛々と進めること。
		②kwh 当たりの建設費	
	(3) 運営維持業務に関する事項	事業期間中の維持管理計画及び緊急対応体制	
	(4) 地域還元に関する事項	地域還元に関する提案や取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献事業について、具体的な提案がなかったのが残念である。 ・地域貢献については、具体的なものがほしかったが、資金面で協力をするとの話があったので、それは良かった。